

2023年9月1日～2025年3月15日の間に 当科においてパーキンソン病の治療を受けられた方及びご家族の方 へ

「パーキンソン病における腰痛の頻度とその要因についての調査：follow up study」へのご協力のお願い

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者 川崎医科大学神経内科学 教授 三原雅史
研究分担者 川崎医科大学神経内科学 講師 梶山裕太
川崎医科大学神経内科学 大学院生 齊藤明子
川崎医科大学神経内科学 大学院生 佐竹良太

1. 研究の概要

パーキンソン病における腰痛に関して、その頻度や特徴、腰痛の有無による臨床症状などへの影響について、カルテ上の情報を用いて調査を行います。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2023年9月1日～2025年3月15日の間に川崎医科大学附属病院脳神経内科においてパーキンソン病の治療を受けられた方を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2025年9月30日

3) 研究方法

上記の研究対象期間に当院においてパーキンソン病の治療を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに腰痛や臨床症状などのデータを選び、腰痛の有無による臨床症状の違いに関する分析を行い、パーキンソン病の腰痛のメカニズムについて調べます。

4) 使用する情報の種類

情報：年齢、性別、病歴、治療薬の内容、腰痛の性状・程度、パーキンソン病の臨床症状 など

5) 情報の保存及び二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学神経内科学教室内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2025年7月31日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学附属病院 脳神経内科

氏名：三原 雅史

電話：086-462-1111（平日：9時00分～17時00分）

E-mail：neuro-office@med.kawasaki-m.ac.jp

3. 資金と利益相反

この研究において、資金の受入及び使用はありません。本研究に関する利益相反の有無および内容について川崎医科大学利益相反委員会に申告し適切に管理されています。